

# 広報アウトリーチ室

## Outreach and Public Relations Office

アウトリーチ (Public Outreach) とは、「研究開発を行う機関が一般社会に赴いて教育・普及・啓発等の働きかけを行うこと」を意味します。地震研究所では、この活動を組織的かつ効率的に行うため、平成 15 年 (2003 年) にアウトリーチ推進室を設けました (2010 年に広報アウトリーチ室に改称)。その理念は、①一般市民や自治体等へ研究成果やその知見を普及・啓発・広報する、②教育や研究ニーズを把握し、それに基づく研究計画の策定を検討することで、具体的には次のような活動を展開しています。

### 1) ホームページや報道機関を通じた広報活動

地震研究所の研究活動や教育活動に関する情報をホームページ・広報誌等を通じて紹介しています。重要な調査観測や研究成果についてはホームページで速報するほか、報道機関を通すなど、一般の方へ届くよう情報発信をしています。また地震・火山に関する取材や一般からの問合せへの対応も広報アウトリーチ室で行っています。

<http://outreach.eri.u-tokyo.ac.jp/>

### 2) 公開講義等の普及・啓発活動

地震・火山に関する研究の最先端やその魅力を伝えるため、公開講義や一般公開、施設見学会などを開催しています。また、自治体や教育機関等からの講演依頼、地震研究所の見学・講演依頼等についても、状況に応じて適宜、対応に努めております。

### 3) 防災担当者や報道関係者等の専門家教育

地震・火山防災の担当者や報道関係者に、地震・火山に関する研究の動向等を紹介するとともに、関係者との意思疎通の促進を図るため、年間数回程度の懇談会を開催しています。

### 4) 防災関係省庁や自治体等との連携・技術移転の促進

専門的な立場からの防災担当機関への助言や、地震研究所が開発した技術の応用・移転に取り組んでいます。

In viewing the importance of our mission to feedback our research products to many people, we have been carrying out various outreach activities. The Public Outreach Office was first established in 2003 and has now been renamed as Outreach and Public Relations Office in 2010. Our main roles are 1) to make the public outreach more effective and systematic, and 2) to grasp public needs to research activities and reflect them to our research projects. In order to accomplish them, the office has been promoting 1) public relations through the web site, publication, and the media, 2) public education through open house and public seminar, 3) education for the specialists and technicians of emergency services, and 4) cooperation with national and local governments.



2008 年よりニュースレターを刷新  
“ERI Newsletter Plus” since 2008



所内見学会  
「ラボツアー」  
Lab Tour



毎年夏には地震研究所の一般公開を開催  
ERI Open House and Open Lecture is held annually.

